

One Action Beach Clean 2024 神戸・須磨海岸で清掃ボランティア

6月8日、神戸製鋼は、ネスレ日本(株)、NPO法人須磨ユニバーサルプロジェクト(須磨UBP)と共同企画した、須磨海岸清掃活動「One Action Beach Clean」を実施しました。



この活動は、車椅子で海を楽しめる「ユニバーサルビーチ」の普及を推進する須磨UBPと、海洋ゴミ問題に取り組むネスレ日本との共催イベントとして2019年よりスタート。神戸製鋼は、地元神戸の企業として交流のあったネスレ日本の紹介で昨年より参加しています。

6月8日の世界海洋デーに合わせて開催された今回は、KOBELCOグループ従業員とその家族約70人、ネスレ日本と須磨UBPの参加者を合わせ約200人が須磨海岸に集合。ゴミ袋やゴミ拾い用トングを手に、およそ800mの範囲を清掃すると40分ほどで約30kgのゴミが集まりました。

参加者の感想より

- NPOや他の企業と連携した地域貢献活動は、地域との共生という点でとても大切だと強く感じました。
- 社外(他社)の方とのSDGs協働はたいへん良い取り組みだと思います。今後は知り合いも誘ってみようと思います。
- みんなで同じ網を引っ張ることで一体感を持った。1つのことに大勢が一緒になって取り組むことは素敵だなと思いました。

神戸製鋼は受付に「フードドライブ」の窓口も設置。フードドライブとは、家庭で余っている食品や日用品を回収し、それらを必要としている地域の福祉施設や子ども食堂などに寄付する活動のことで、食品廃棄時に発生するCO₂の削減にもつながる取り組みとして注目されています。「未開封」「賞味期限1カ月以上」などの条件であらかじめ案内を受けていた参加者から、レトルト食品や調味料といった提供品が多く持ち寄られました。また、清掃の後には地元漁師の方々の協力で地引き網イベントも行われ、子どもから大人まで楽しみました。



フードドライブで集まった提供品の一部

参加したほとんどの子どもが地引き網初挑戦。全員で力を合わせて引き上げた



前回(2023年11月)を上回る量のゴミが集まった



網にかかった魚を観察しながら漁師による解説も行われた

砂浜にビーチマットを敷いて車椅子での移動をサポート

